

2. 交通量経年比較

(1) 主要路線の断面交通量比較

主要路線における断面交通量を平成29年と比較すると、全体的に若干減少した感がある。

区をまたぐ静岡市全域の路線について交通量の伸び率を区間別に見ると、平成29年と比較可能な5路線23区間のうち、交通量が増加した区間は7区間、減少した区間は16区間となっている。

伸び率が増加した区間は「(一) 静岡環状線の日出町～水落」の1.13が最も高く、次いで「国道1号の辻三丁目～清水駅前」の1.09、「国道1号の清水駅前～大曲」の1.08の順である。

伸び率が減少した区間は交通がバイパスに転換した「(主) 山脇大谷線の静岡大学入口南以南」の0.30が最も低く、次いで「(主) 山脇大谷線の小鹿橋東～静岡大学入口南」の0.69、「(一) 静岡環状線の新富一丁目以南」の0.91の順である。

【主要路線の断面交通量年度比較表】（静岡市全域）

路線名	区間	交通量（台/12時間）			伸び率	
		平成26年	平成29年	令和3年	R3/H29	R3/H26
国道1号	興津中町 ～ 興津駅前	—	—	9,000	—	—
	興津駅前 ～ 辻三丁目	12,012	—	12,831	—	1.07
	辻三丁目 ～ 清水駅前	13,761	12,441	13,540	1.09	0.98
	清水駅前 ～ 大曲	10,740	10,148	10,973	1.08	1.02
	大曲 ～ 中之郷	31,347	28,539	27,363	0.96	0.87
	中之郷 ～ 長沼	31,434	29,043	27,454	0.95	0.87
	長沼 ～ 東静岡大橋北	27,373	25,375	25,978	1.02	0.95
	東静岡大橋北 ～ 日出町	27,929	28,697	28,861	1.01	1.03
	日出町 ～ 静岡駅前	33,895	31,962	31,617	0.99	0.93
	静岡駅前 ～ 常磐町2丁目	30,271	28,650	27,373	0.96	0.90
(主) 静岡清水線	常磐町2丁目 以西	27,710	26,161	25,049	0.96	0.90
	江川町 ～ 水落	13,317	12,555	12,364	0.98	0.93
(主) 山脇大谷線	水落 以東	16,016	15,266	15,786	1.03	0.99
	小鹿橋東 以北	19,602	18,997	18,543	0.98	0.95
	小鹿橋東 ～ 静岡大学入口南	5,994	6,712	4,630	0.69	0.77
	静岡大学入口南 以南	7,337	8,293	2,474	0.30	0.34
	宮川南西 以北	—	—	11,056	—	—
(一) 静岡環状線	宮川南西 以南	—	—	10,696	—	—
	八幡一丁目北 以南	—	—	15,701	—	—
	八幡一丁目北 ～ 日出町	16,071	16,770	16,606	0.99	1.03
	日出町 ～ 水落	12,133	11,630	13,182	1.13	1.09
	水落 ～ 安倍町	11,455	11,234	10,815	0.96	0.94
	安倍町 ～ 安西4丁目	11,217	11,341	10,602	0.93	0.95
	安西4丁目 ～ 新富一丁目	—	15,968	14,772	0.93	—
(一) 静岡草薙清水線	新富一丁目 以南	—	12,801	11,647	0.91	—
	草薙駅前（南幹線） 以西	22,173	19,723	20,699	1.05	0.93
	草薙駅前（南幹線） ～ 有東坂	23,962	24,979	23,348	0.93	0.97
	有東坂 以東	19,588	20,182	18,851	0.93	0.96

伸び率の増加が上位の地点

伸び率の減少が上位の地点

葵区の路線について交通量の伸び率を区間別に見ると、平成29年と比較可能な3路線10区間のうち、交通量が増加した区間は3区間、減少した区間は7区間となっている。

伸び率が増加した区間は「国道362号の安西4丁目～本通3丁目」、「国道362号の本通3丁目～常磐町2丁目」の1.03が最も高く、次いで「(主)井川湖御幸線の江川町～静岡駅前」の1.01、の順である。

伸び率が減少した区間は「(一)藤枝静岡線の本通3丁目～中町」の0.92が最も低く、次いで「(一)藤枝静岡線の本通6丁目～本通3丁目」、「(一)藤枝静岡線の本通6丁目以西」、「(主)井川湖御幸線の安倍町以北」の0.93の順である。

【主要路線の断面交通量年度比較表】（葵区）

路線名	区間	交通量（台/12時間）			伸び率	
		平成26年	平成29年	令和3年	R3/H29	R3/H26
国道362号	安西4丁目 以西	13,786	14,726	14,227	0.97	1.03
	安西4丁目 ～ 本通3丁目	13,747	13,162	13,512	1.03	0.98
	本通3丁目 ～ 常磐町2丁目	19,361	18,291	18,785	1.03	0.97
(主) 井川湖御幸線	安倍町 以北	18,251	17,839	16,638	0.93	0.91
	安倍町 ～ 中町	18,816	18,290	18,004	0.98	0.96
	中町 ～ 江川町	20,307	19,595	18,501	0.94	0.91
	江川町 ～ 静岡駅前	15,911	15,077	15,296	1.01	0.96
(一) 藤枝静岡線	本通6丁目 以西	-	15,393	14,282	0.93	-
	本通6丁目 ～ 本通3丁目	17,492	16,893	15,725	0.93	0.90
	本通3丁目 ～ 中町	17,275	16,656	15,368	0.92	0.89

駿河区の路線について交通量の伸び率を区間別に見ると、平成29年と比較可能な1路線2区間のうち、交通量が減少した区間は2区間となっている。

伸び率が減少した区間は「(都)中野小鹿線の競輪場南以西」の0.91が最も低く、次いで「(都)中野小鹿線の競輪場南以东」の0.96の順である。

【主要路線の断面交通量年度比較表】（駿河区）

路線名	区間	交通量（台/12時間）			伸び率	
		平成26年	平成29年	令和3年	R3/H29	R3/H26
(主) 中島南安倍線	東名I.C入口 以南	-	-	18,919	-	-
	東名I.C入口 以北	-	-	28,303	-	-
(都) 中野小鹿線	競輪場南 以西	-	20,903	18,930	0.91	-
	競輪場南 以东	-	18,475	17,770	0.96	-

清水区の路線について交通量の伸び率を区間別に見ると、平成29年と比較可能な3路線4区間のうち、交通量が減少した区間は4区間となっている。

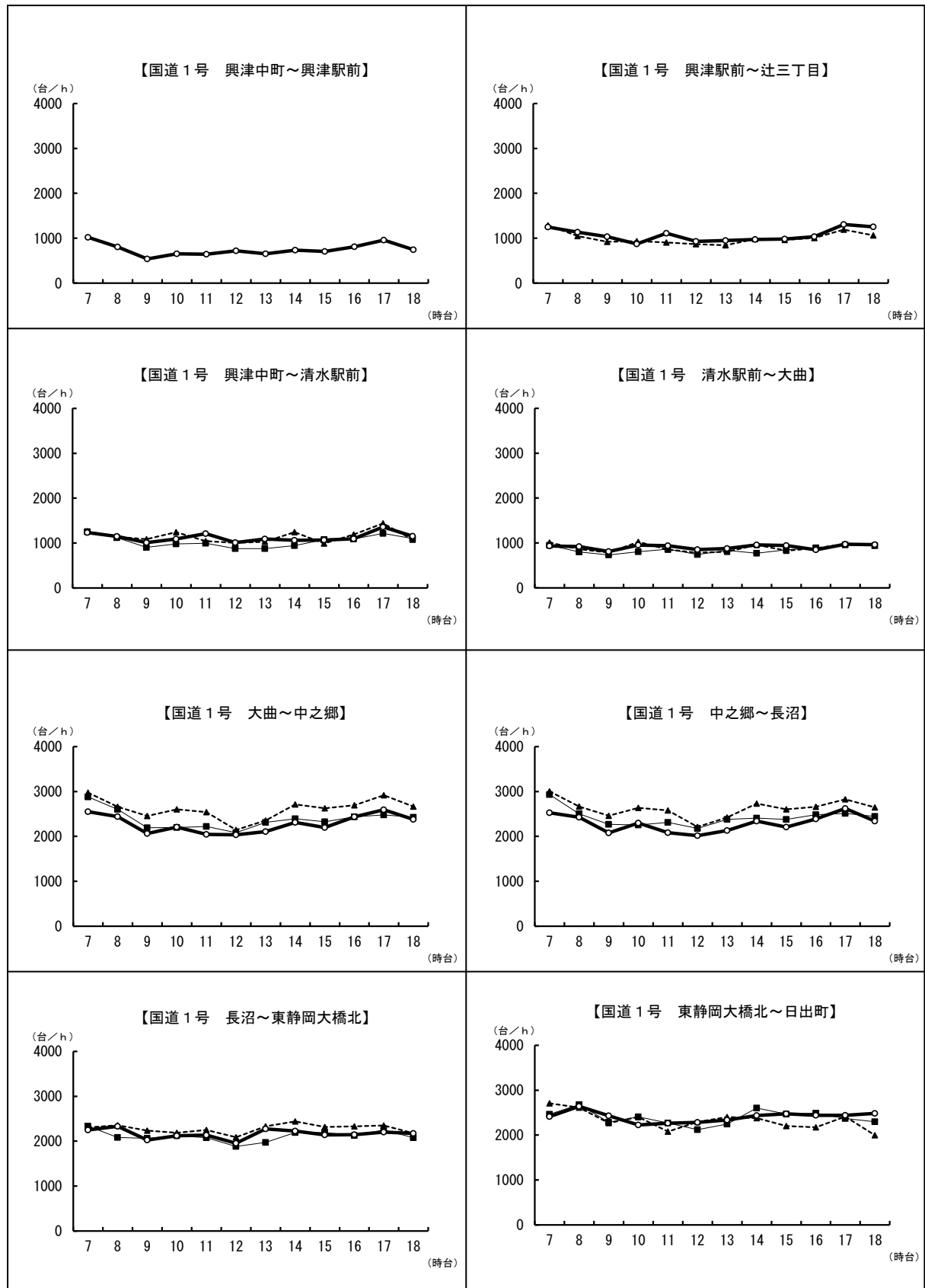
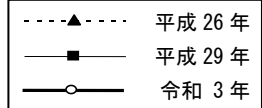
伸び率が減少した区間は「袖師臨港道路の藍染町以南」、「袖師臨港道路の藍染町以北」の0.97が最も低く、次いで「(都) 村松堀込線の有東坂以南」の0.98の順である。

【主要路線の断面交通量年度比較表】（清水区）

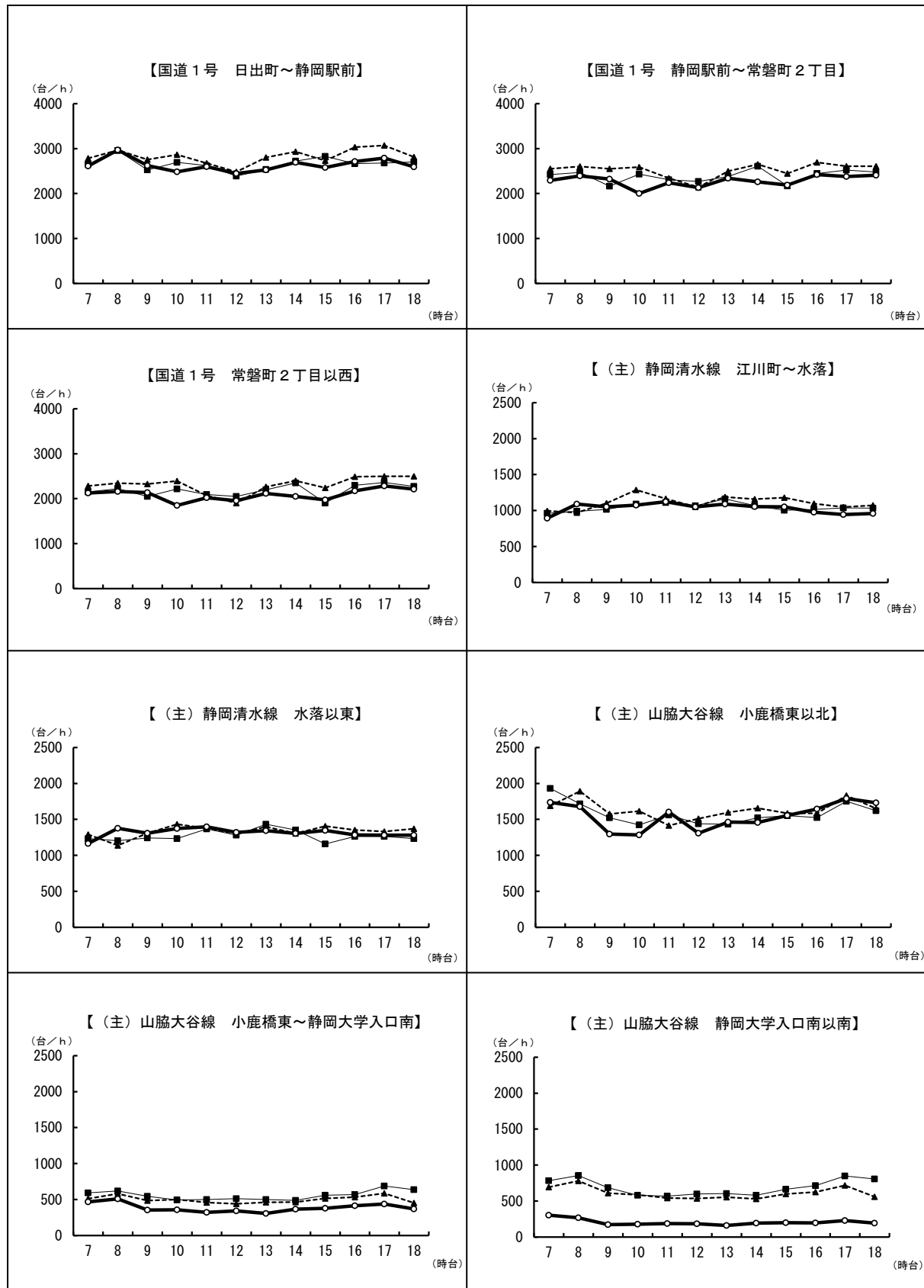
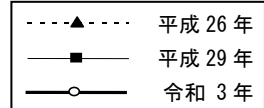
【主要路線の断面交通量年度比較表】（清水区）

						伸び率の増加が上位の地点	
						伸び率の減少が上位の地点	
路線名	区間		交通量（台/12時間）			伸び率	
			平成26年	平成29年	令和3年	R3/H29	R3/H26
国道149号	清水駅前	以南	15,217	14,322	14,313	1.00	0.94
袖師臨港道路	愛染町	以南	25,519	24,353	23,720	0.97	0.93
	愛染町	以北	25,638	24,064	23,426	0.97	0.91
（都）村松堀込線	有東坂	以南	10,304	11,140	10,911	0.98	1.06

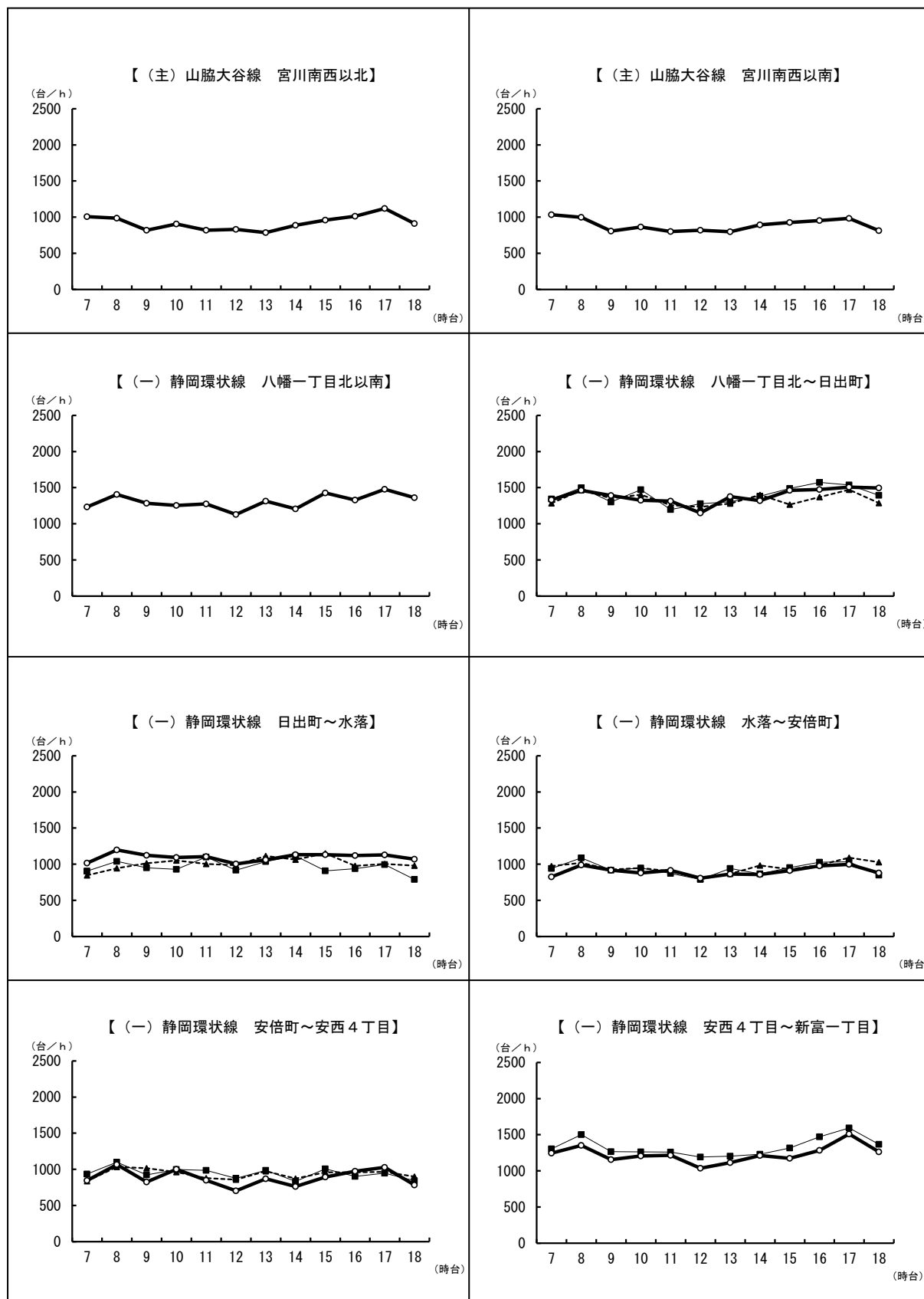
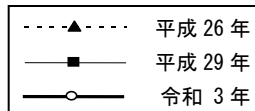
主要路線の断面交通量年度比較図（静岡市全域①）



主要路線の断面交通量年度比較図（静岡市全域②）

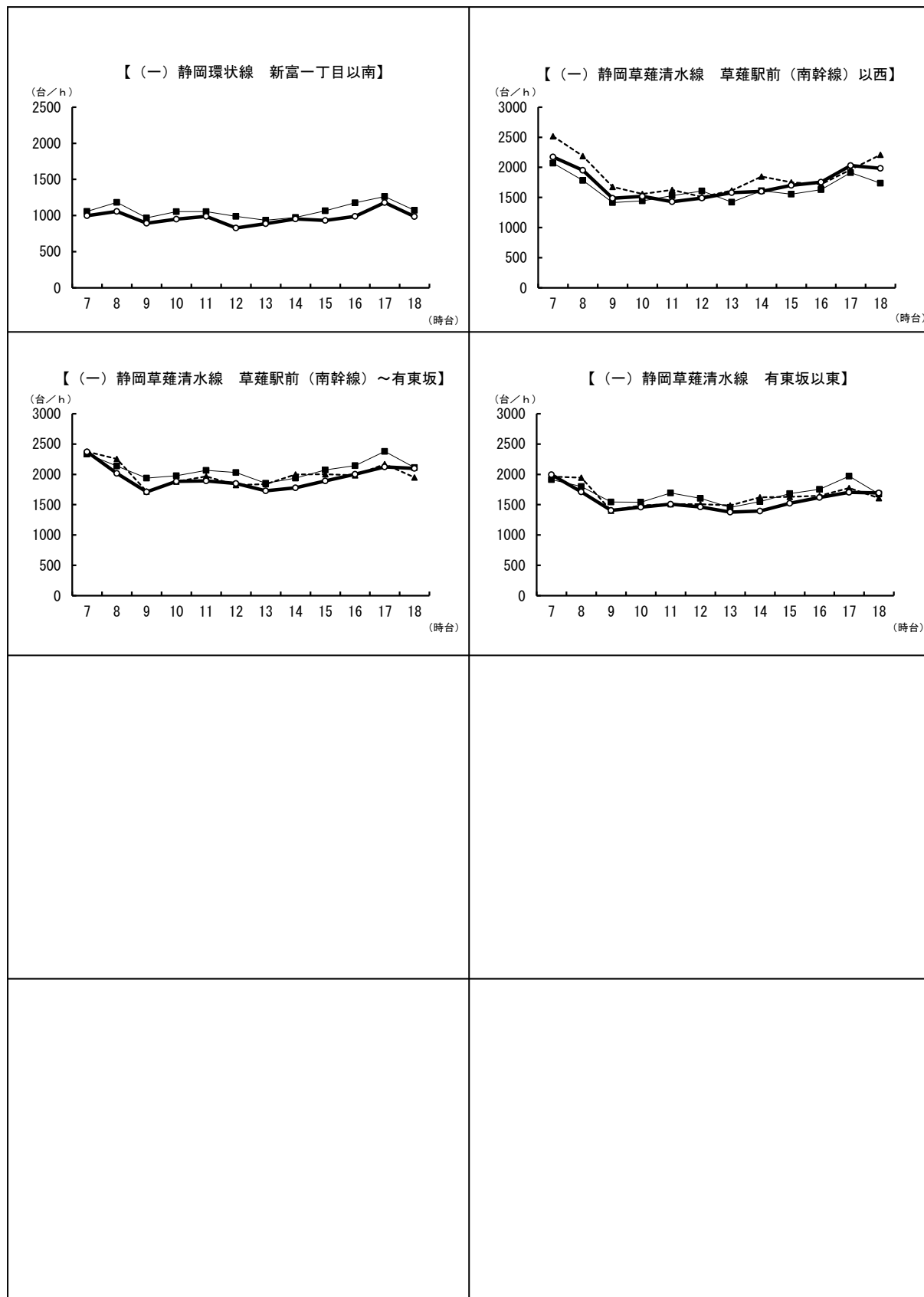


主要路線の断面交通量年度比較図（静岡市全域③）



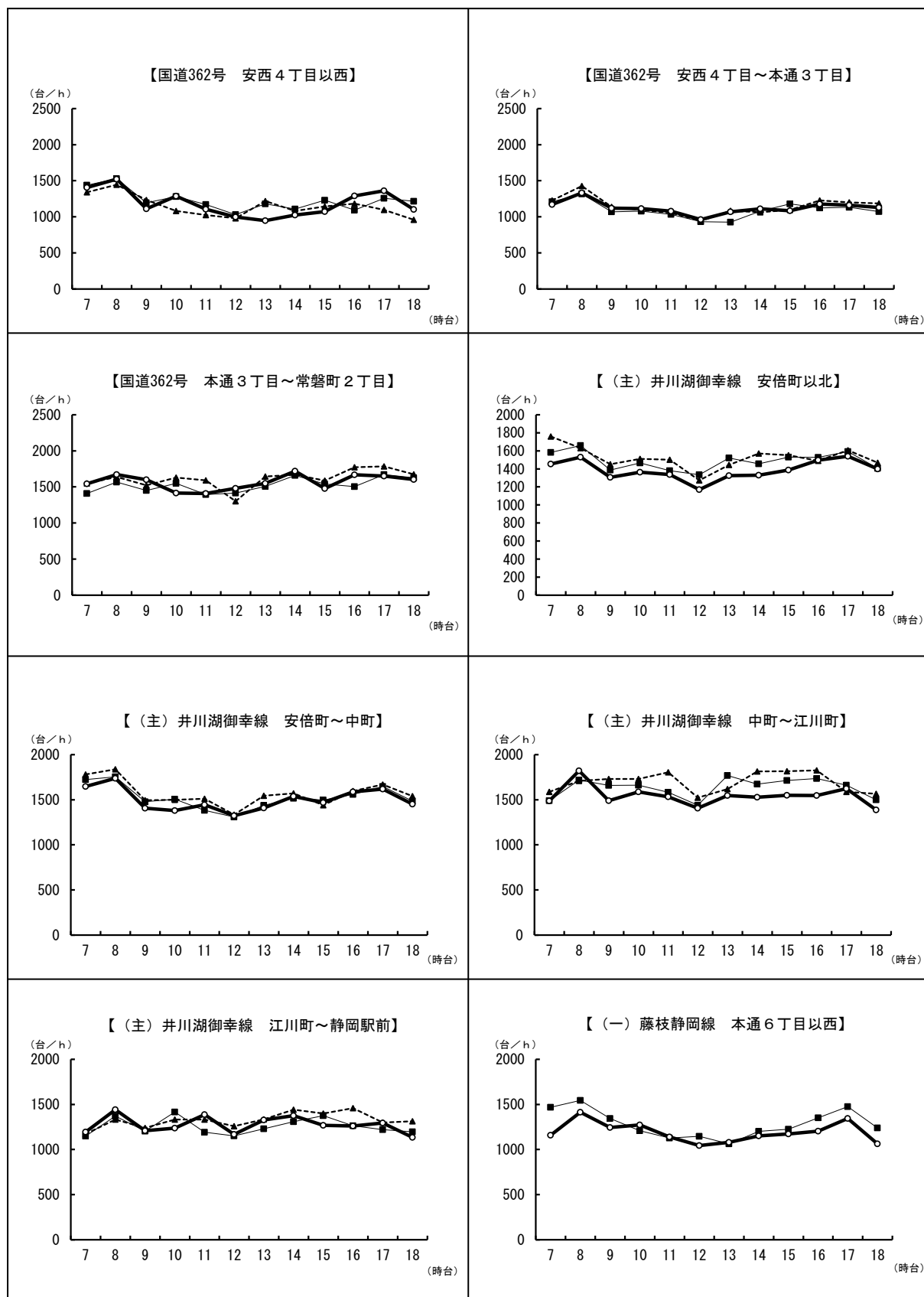
主要路線の断面交通量年度比較図（静岡市全域④）

-▲- 平成 26 年
 -■- 平成 29 年
 -○- 令和 3 年



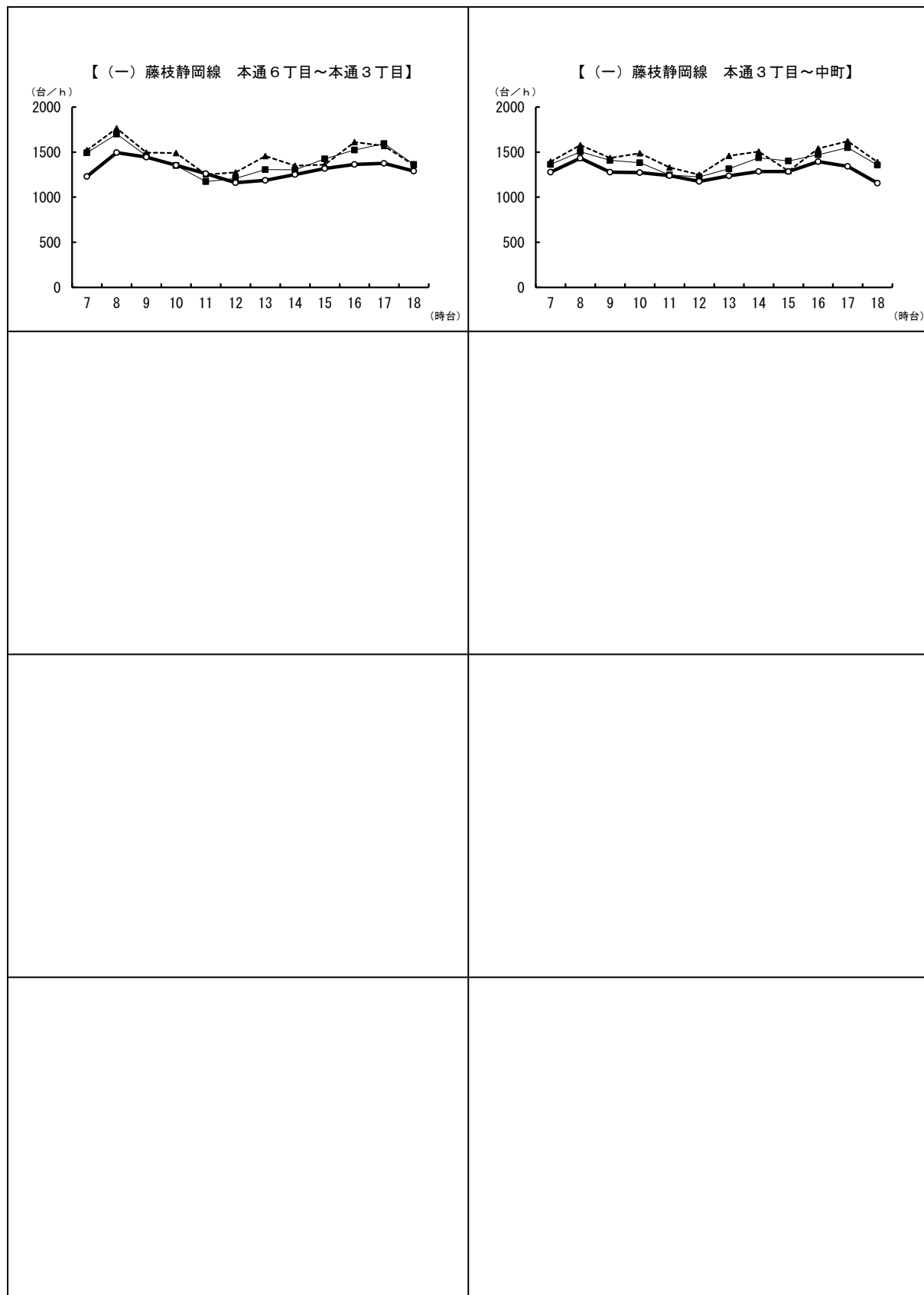
主要路線の断面交通量年度比較図（葵区①）

-▲- 平成 26 年
 -■- 平成 29 年
 -○- 令和 3 年



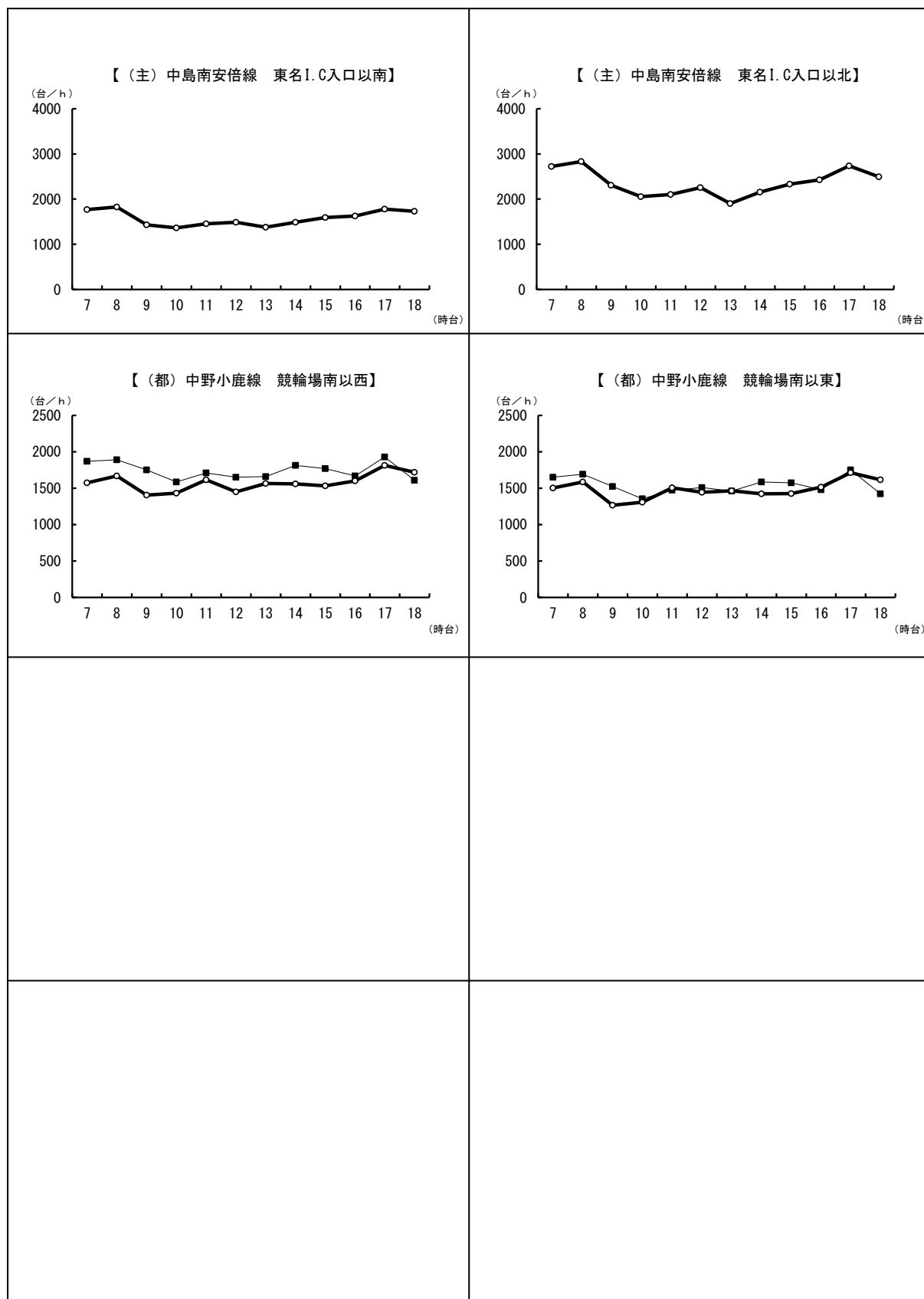
主要路線の断面交通量年度比較図（葵区②）

-▲- 平成 26 年
 -■- 平成 29 年
 -○- 令和 3 年



主要路線の断面交通量年度比較図（駿河区①）

-▲- 平成 26 年
 -■- 平成 29 年
 -○- 令和 3 年



主要路線の断面交通量年度比較図（清水区①）

